

文化通心



池に浮かぶ一隻の舟

栗林公園は紫雲山を借景として、茶室や書院を路や水で結び、変化に富んだ景観をしめす。

大茶屋（掬月亭）は棟の配置を北斗七星になぞられた建物で、その命名は唐の詩人・千良史（うりようし）の「春山夜月」の一節、掬水月在手。

弄花香満衣による。

「あ・うんの数寄講座」で来県された斎藤裕氏はこの茶室は月見の舟遊びの優雅な空間だと言われた。

「池の水面に落ちた月影は反射して、部屋の中まで明るい。身をのりだして、手に掬ったはずの月は、指先が作った波の数だけに碎けて散った…」

写真撮影／藤井照芳

第一回は 永六輔氏を迎えて

中條文化振興財団学術文化振興特別助成

「あ・うんの数寄講座」

日本文化のエッセンスを探る連続セミナー

平成十一年三月十五日午後六時半



僕は腕利きの宮大工の削ったカンナクズが大好きなんですね。これは観音寺の香川さんという棟梁から頂いてきました。もう美しい技術です。

と。そこで初めて「よし、この爺さんのため何とかしよう」と思った。寸法一つのこ

とで、僕は小沢昭一さんと「曲尺と鯨尺（くじらじやく）」をもう一回使えるようにしましょう」と言って随分運動しました。そ

れでやつと、十年前、黙認ということになつたんですね。ただ依然として計量法という法律はありますから、みんな肩身の狭い思いで仕事をしているんですよ。僕はそれがイヤなんです。

運動を経て、今思うことは?

運動をしたときに、多くの建築家が手伝つてくれたか? 誰も手伝ってくれない。言うだけ言う、後から譽める。でも戦う現場にはみんなないんです。大工さんたちも。鯨尺を使う呉服業界の人達も。誰も立ち上がりたくない。尺寸を大事にしているお茶の世界、御流儀もいっぱいあって、お茶室も器もさらに道具を置く位置も、寸法を大事にしているお茶の世界の方達が「永さん、お手伝いしましょ。やつぱり曲尺や鯨尺が大事ですよ」と言つたかというと誰も言わない。終わつて黙認されるようになつて「ありがとうございました。永さんのおかげですよ」と言うの。これじゃだめなんですよ。納得いただけますか?

僕が今、一番言いたいことは、伝統工芸の世界、大工さん達の世界というものがどう守つて下さい」とかいろいろ言つている。つまり、こういう変な法律が通つちゃう国なんですよ。日本の政治家というのは文化に関しては何も分かつていらない。現場にいるんですけど、それを守つて下さるのは、皆さんしかいないんですね。お茶をなさつているんですね。それを守つて下さるのは、皆さんがいいじめられるのはおかしいと。大工のおじさんの話を聞けば聞くほど、僕はおじいさんの言うことの方が正しいよな、絶対、

「わび・さび」についての思いは?

「わび・さび」を考えるとき、いつも思うんです。その裏側にあるはずの見えてない部分のことを。例えば、奈良という町は世界遺産になるぐらいのたくさんのお寺があります。千何百年というお寺が、あるわけでしょ。千何百年といふ時代で、そこがいつまでも残るわけですね。それが「わび・さび」という言い方になつたりする。奈良の大仏様もほんとは金ピカだったんですよ。全部金箔を置いていたんですよ。しかも銅ですよ。それだけでイタイイタイ病と水俣病で、どれだけの人が死んだかというのがわかりますね。それでもなおかつ、わけのわからない病人がいっぱい死んでくるから、光明皇后が施薬院と悲田院を造るわけですよ。そのあげくに、全部町が滅びていく。緑もなくなつていく。田畠も腐っていく。魚もいなくなつていく。それで奈良から京都に移るんですよ。つまり、平安京から平安京に移るのは、公害で滅びちゃつたんです。その後、千二百年かかって今まで奈良の町は美しい町に戻つたけれど…。つまりそういうことって誰も何も言わないうの。「わび・さび」のかげに何があつたか。われわれは少し考えてもらいいんじゃないかと思ひますね。

でも、錆びるにしろ、剥げるにしろ、時間がたつにつれてよくなつていくことでは、高松の百十四銀行本店がありますね。赤銅色にピカピカ光つたあの建物ができるのは、もう何十年も前のことです。それが今、緑青色に変わつていてるでしょう。つまり、ときとともに美しくなつていく、それなんですね、「わび・さび」というのは。それは日本人にとって、すごく大切な感覚なんですね。

第一回は「よし、この爺さんのため何とかしよう」と思った。寸法一つのことですが、僕は小沢昭一さんと「曲尺と鯨尺（くじらじやく）」をもう一回使えるようにしましよう」と言って随分運動しました。それでやつと、十年前、黙認ということになつたんですね。ただ依然として計量法という法律はありますから、みんな肩身の狭い思いで仕事をしているんですよ。僕はそれがイヤなんです。

—— 尺貫法を守る運動を展開されたのは?

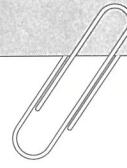
直接のきっかけは、新幹線ができる当初、新幹線の中で出会った大工のおじいさんなんですね。そのおじいさんが奈良の薬師寺で西塔を再建した西岡棟梁の右腕と呼ばれた人だつたんです。ある日、そのおじいさんから電話がかかってきたんです。「曲尺（かねじやく）」が取り上げられた。曲尺が使えないんだつたら、俺やめるから。お上に逆らつてしまで仕事はしたくない。やめるから来てくれ」というので、行つたんですよ。

その頃ちょうど、今から四十年ほど前ですね、計量法が施行され日本は尺貫法からメートル法に変わりました。日本の伝統工芸、織物、建築等の世界で尺寸が必要なことが分かつていながらですよ。法定単位、つ

まりメートル法以外は法律で使つちやいけないと。それを使って物を作つたり、まして物差しを売つたりすると、懲役三年、罰金三十万円。これは、通産省が管轄しているのですが、今、通産省も直したいんですね。尺寸を法律で使つちやいけないと決めておきながら「伝統工芸品を大切に。昔ながらの伝統を守つて下さい」とかいろいろ言つている。つまり、こういう変な法律が通つちゃう国なんですよ。日本の政治家というのは文化に関しては何も分かつていらない。現場にいるんですけど、それを守つて下さるのは、皆さんがいいじめられるのはおかしいと。大工のおじいさんの話を聞けば聞くほど、僕はおじいさんの言うことの方が正しいよな、絶対、

現場で働く腕のある大工の年寄りが、それでいいじめられるのはおかしいと。大工のおじいさんの話を聞けば聞くほど、僕はおじいさんの言うことの方が正しいよな、絶対、

第一回「あ・うんの数寄講座」より一部抜粋



平成十一年度 財団賞決定！

平成十一年八月五日 財団茶室「晴松亭」に於いて、第七回財団賞の選考のための評議員会及び理事会が開催された。

今年度は県内各教育委員会よりご推薦頂いた五団体（個人）の中から次の二団体（個人）に決定した。

大野原教育委員会教育長推薦
善通寺市教育委員会教育長推薦

北山 守文 氏

田野々雨乞いには、古い歴史があり、役七百五十年前にこの雨乞いが、行われていたと、五郷田野々の法泉寺の縁起に併記されている。

それから約三百五十年後慶長年間に薩摩法師によって雨乞踊が指導伝授されたと伝えられている。

昭和九年の早魃に雨を祈つて踊るが、昭和十二年に支那事変がおこり、戦線の拡大とともに雨乞踊が途絶えてしまっていたが、復活準備から足かけ二十年、初代会長を中心地域の皆さんのが一つになって雨乞踊の復活・充実につとめ、昭和四十六年から今日まで、世代交代を経ながら、田野々地区約五十戸の集落の皆さんで、田野々雨乞踊の伝承活動が、推進されてい

河原で拾ってきた自然の石に余分な加工をせず、ペイントするだけの簡単な方法ながら、小物や背景等も丁寧に手作りし、見ごたえのある作品に仕上げている。

平成四年の東四国国体、平成六年のねんりんピック、平成九年の国民文化祭など各種行事に参加した人々に対する記念品としての石人形の制作。美術館・公民館での「石人形づくり教室」の開催等の活動にも熱心に取り組んでおられますので、目にされた方も多いのではないかと思

考の対象となります。
授賞者には財団賞（賞状）と奨励金二十万円が贈られ、贈呈式は、財団設立記念日の十月一日に行われます。

受賞者のプロフィール

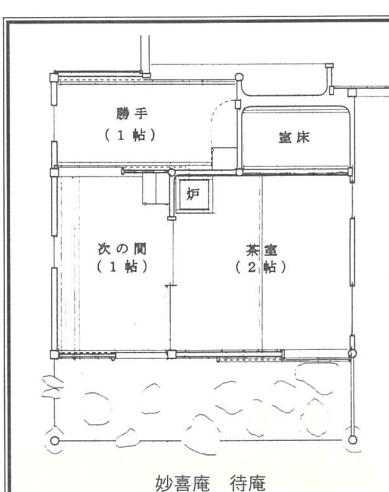
◎田野々雨乞い踊り保存会



◎北山守文氏（石人形作家）

北山さんは善通寺市商工観光課長時代の昭和四十六年頃より「うどん以外の讃岐の名物」と石人形の制作を開始。県内五市三十八町の祭をテーマにした作品作りをはじめ、表情豊かな干支の石人形等を制作（福祉施設や公共施設に寄贈）、

定無形民俗文化財の指定を受け、現在に至る。（推薦書より抜粋）
毎年一回地元五郷地区において発表会を開催。本年度は九月五日開催予定です。のでぜひご見学下さい。



国宝茶室 一、 妙喜庵 待庵

国宝三茶席のひとつである待庵は、京都山崎妙喜庵内にあり、いわゆる千利休好みの数寄屋として、造営当初の形式を大体においてよく保存されている草庵茶室である。外觀は妙喜庵書院に付属して、間口一間半、奥行一間半、南面に躰口、連子窓、東側には下地窓二カ所を設けている。

席は室床を配した二畳隅炉の茶席と、一畳と幅八寸の板畳敷の次の間、その後部に勝手一畳を配してある。天井は床前と点前座に矩曲して棹縁天井、その他は化粧屋根裏天井とし、狭い空間に立体感覚を与えている。躰口は普通よりやや大きく幅二尺四寸四分、高さ二尺六寸、床柱はやや細身の杉磨丸太であるが、当初は桐皮付丸太であつたらしく、床の間の内部は天井壁共、隅々を塗り廻した室床形式である。

隅炉は一尺三寸五分角で、左に小板を配し、その左方には袖壁を隔てて吊棚があり、次の間でも点茶を行つたと思われる。後方の一畳敷勝手には、三重吊棚が設けられている。

「晴友会」交流会記 『飲んで、食べて大いに語る』

車を連ねていざ峰山公園へ!! バーベーキューに舌づみ。後は満開の桜の花の下で野点ての一服。



忘れていた茶杓も、その場で割箸がみごとに変身。利休さんも驚く名品に!??



外の空気は食欲をさらに増進。
「これ、私のお肉！」

参加者は各人、料理を一品もしくは芸をご持参願います。美しい瀬戸内海に映る中秋の名月を愛でながらのお茶一服。そして歌舞音曲(?)の一芸は、さて、何が出るか!それは、当日のおたのしみ!

「晴友会」入会お申し込みは財団事務局まで

春

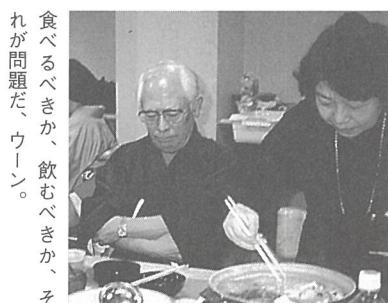
平成十一年四月七日(水)くもり

野点てとバーベーキューの懇親会

あまりのおいしさに、うつとり鍋を見つめる熱いまなざし。



財団の理事さんも、会員さんと話が尽きません。



食べるべきか、飲むべきか、それが問題だ、ウーン。

津田の松原と観月の会

平成十一年九月二十四日(金)
午後六時半

(於) 津田「静観荘」

参加者は各人、料理を一品もしくは芸をご持参願います。美しい瀬戸内海に映る中秋の名月を愛でながらのお茶一服。そして歌舞音曲(?)の一芸は、さて、何が出るか!それは、当日のおたのしみ!

デコ人形の由来

香翠座は円座で栄えた人形芝居であり、「円座ふくさ人形」とか「永井のデコ芝居」と呼ばれていました。高松藩の連枝、松平頼該から人形一揃いと田地七畝のデコ地を賜わり、末長く保存せよと現在に至っています。

中條文化振興財団では、文化に興味を持つ人に声をかけ、平成九年九月より友の会「晴友会」を発足。年一回の親睦会は、会員相互の交流をはかるもの。会友の皆さんから生の声を伺い、財団の活動の参考にもさせていただいてます。

冬

平成十年一月八日(木)くもり

お茶会と鍋めぐりの懇親会

財団の茶室は新年を祝う蓬莱飾りが。一服のお茶の後は、九種の鍋めぐりの交流会へ。メニューをちょっとご紹介。
①ホウコウズ ②ブイヤベース ③鴨鍋 ④キムチ鍋
⑤スッポン鍋 ⑥モツ鍋 ⑦つみれ団子鍋 ⑧和風ボルシチ
⑨やみ鍋(これは会友福永さん持ち込みです)



久々の再会、初めての出会い、皆さん大いにはずみました。

行事予定(九月・十月)

今回の月釜は、円座を中心に活躍する香翠座のデコ人形とお茶席をお楽しみ下さい。阿波徳島の人形師、初代天狗屋久吉作のデコ人形三体を持出し飾りして、説明と遣い方の実演をごらん頂いた後、名残りの茶会として薄茶席と秋の味覚いっぱいの点心席で晩秋のひと時をお楽しみ下さい。お茶の経験や流派にこだわりなくお気軽にご参加頂ければ幸いです。

とき 平成十一年十月二十四日(日)
席主 デコ人形席

薄茶・点心席
裏千家流 山本 佳世子社中
香 翠 座

第一席 九時三〇分~一時四五分
第二席 一〇時一五分~一二時三〇分
第三席 一時〇〇分~一三時一五分
第四席 一二時四五分~一四時〇〇分
第五席 一二時三〇分~一四時四五分
第六席 一三時一五分~一五時三〇分

茶券ご案内

定員 全六席 各二十名
席料 三八〇〇円

第一席 九時三〇分~一時四五分
第二席 一〇時一五分~一二時三〇分
第三席 一時〇〇分~一三時一五分
第四席 一二時四五分~一四時〇〇分
第五席 一二時三〇分~一四時四五分
第六席 一三時一五分~一五時三〇分

Oh! 茶Gai!

その①



今号から始まるこの「一ナード」では、茶道を楽しむ素敵な女性を紹介します。

初回は高松市内にお住まいの石原幹子さん。お母さんが、お茶の先生という幹子さんは子供の頃から茶道に親しんでいたそうです。しかし、お茶を習い始めた理由を聞いてみると、「一般常識として当たり前だと思つたから。決して母に勧められたわけではないんですよ」と微笑んで答えてくれました。お茶を習つてよかつたことは?の質問に「視野が広がって、他人に対する気配りが身についたと思います」とのこと。

矢野頭子さんのファンで趣味はピアノ、「裁縫も料理もまかせてください」というおとやかな面がある一方、「建築設計に興味がある」ことで、将来は素敵な家自分で設計したいんです」という活発な女性でした。

喫茶居(二)

「竹林茶会」

七月に入ると、志度町で竹林上人追善茶会が開かれます。江戸時代の讃岐の良寛さん・竹林上人が晩年を過ごした庵に、

夏らしい涼やかな本席が設けられ、その後、自性院(上人が住職をしていた寺)の点心席で、うどんが振る舞われます。

農村歳時記にも、田植えの済んだ骨休みに、半生(はんげ)うどんを食べる習慣があつたとありますから、この季節にタイムリーな趣向です。足つき膳にうどんとつけ汁が運ばれ、葉味は細ねぎ、いりゴマ、練り辛子。浴衣姿でお給仕する半東さんに勧められ、重ねて美味しく頂きました。お誘いした県外人に「さすが、讃岐う



どんの本場ですね。茶会にうどんが出るですか」と驚かれたり、喜ばれたり。帰りには平賀源内遺品館で咲き始めた古代ハスを愛で、志度寺に残る海女の玉取り伝説の跡をたどりながら、お茶会の余韻を楽しみました。

多くの人々によく理解していただき、広めるためには無駄を省き(洗練する)様式化する必要があります。(この点では、茶道や華道などにも相通じると思います)そのためには、かなりの努力が要求されることもお解りいただけるでしょう。演奏者は、自分が弾いて楽しかった(自己満足)ではなく、聞きたくて下さった方々に何か(喜びや感動など)を贈ることができる…という思いを込めて弾いているのです。

コンサート後、演奏者を交えてのトークは、また一味違った楽しさがあります。演奏者の本音、曲にまつわるエピソード等々。「クラシックはどうも」と敬遠なさらずに、ぜひコンサートに参加下さい。

クラシックギターについて

「クラシックギターと言うのは、曲で区別しているのですか?」「弾き方で区別しているのですか。」とよく尋ねられます。

答えはノー。外国ではジャズ・ポピュラーやクラシック・フォークなどと区別せず「ギター」と称します。敢えて言うならクラシカルギターと呼ぶのが良いのでは

ないでしょうか。ではクラシックとは? 厳密に言えば、宮廷音楽のことを指めし、誰かに献げられたものを言います。です

から、バッハまではクラシックと言えるでしょう(彼は教会音楽を数多く作曲しましたが、これらは神に献げられたもので

す)

数寄屋空間とクラシック音楽の出会い
西垣正信 ギターリサイタル
音楽とともに、欧洲のサロンコンサートのもてなしを再現。演奏前のアベリティフ、演奏後のワインなどを数寄屋空間でお楽しみ頂きます。

会費 五百円(当日受付にて)
※各回とも午後六時三〇分開演

第七回 第六回 九月一三日(月)
一〇月四日(月)

乱世の客(お才の局、他)

第八回

一一月八日(月)

殖産事業(関良助、他)

文化講演会

「客たち」の行間(全八回シリーズ)四国新聞に好評連載中の「客たち」を執筆する妹尾共子さんの講演と茶話会。

とき 第六回 九月一三日(月)
大プロジェクトの陰に

第六回 九月一三日(月)

当財団事務局まで

すべて予約制(時間指定)となります
お申し込み、お問合せは、
当財団事務局まで

☎(087) 826-3350

茶華道ガイド

安部流四国支部 ☎(087)86-3442

9/26 平成11年度チャリティ茶会 ●
丸亀総合会館 10:00～

嵯峨御流華道香川司所 ☎(087)822-1070

11/26～28 嵯峨御流華道香川司所 坂出花展 ■
坂出市民ふれあい会館 10:00～

高松市茶華道協会 ☎(087)831-6412

11/13～14 秋趣茶会といけ花展 玉藻公園披雲閣 9:00～●
13日席担当：石州流茶道宗家石州会香川支部 安西光榮社中
14日席担当：江戸千家不白会香川支部 白杵宗和社中

表千家流無類井宗英 ☎(087)831-6412

11.21 オイスカ茶会 天神会館 9:00～●
大塚翠章 ☎(087)46-5303
10.24 第12回 万葉茶会 坂出市万葉会館 10:00～●
11.21 香川大学煎茶部雅遊会創部10周年記念茶会 ●
中條文化振興財団 10:00～

江戸千家 香川支部 ☎(087)851-5330

11/7 江戸千家不白会茶会 玉藻公園披雲閣 9:00～●

金丸光洋 ☎(087)73-2226

10/10～11 金比羅宮例大祭奉納花展 ●
鳳月流・嵯峨流・華月流・池坊 10:00～●
10/10 金比羅宮例大祭奉納茶会 ●
煎茶道静風流 金丸光洋社中 10:00～

玉藻公園管理事務所 ☎(087)851-1521

9/25～27 一茶庵久松会 茶会 披雲閣
10/2～3 茶道・石州流琴松会 ▲
10/8～9 表千家同門会 ▲
10/16～17 茶会・三笑亭賣茶流高松仙友会 ▲
10/23～24 石州流茶道片桐宗閑公327年記念茶会 ▲
10/30～31 高松屋島ライオンズクラブ秋の茶会 ▲
11/27～28 香川大学 表千家流茶会 ▲

武者小路千家 香川官休会 ☎(087)851-2258

9/5 9月月会 席主：多田よう子 本覚寺
10/3 10月月会 席主：小川美喜子 ▲
11/7 11月月会 席主：西村 純子 ▲

イベントガイド

高松市趣味協会 ☎(087)833-7721

10/3 ふれあいヨーガの集い 簡単なヨーガ体操の指導 ■
玉藻公園桜の馬場 10:00～
10/12～15 秋のロビー展 押し花 拓本 小品盆栽 サツ ■
キ展の展示 高松市役所ロビー 8:30～
10/23～24 秋のばら展 ばらの花展示 栽培指導 ■
高松市文化センター 9:00～
10/23～11/19 小品盆栽展 小品盆栽の展示 栽培指導 玉藻公園 ■
菊花展 菊花の展示 栽培指導 玉藻公園
10/24 奇術への招待 奇術の実演 高松市文化センター 13:30～
11/20 映像フェスティバル ビデオの映写
高松市文化センター 18:00～
11/30～12/5 文学碑の拓本展 四電プラザ 10:00～■

高松市教育委員会 ☎(087)839-2636

9/8～28 高松市役所手芸作品展 瓦町地下ギャラリー ■
9/29～10/13 小原流生け花展 瓦町地下ギャラリー ■
10/1 玉藻城 薩能 玉藻公園桜の馬場 17:30～●
映画祭 ~戦後の巨匠~ 高松市美術館 10:30～●
10/3 伝えよう命の響き ミューズホール 12:30～●
ふれあいヨーガの集い 玉藻公園桜の馬場 10:00～■
10/9 とておきの芸術祭in高松'99 ■
セントラルホールウイング
香川ユニア音楽コンクール賞者フェスティバル 高松テルサ ■
10/16～17 メタセコイアと三木博士講演会と現地研修 ●
高松市美術館講堂 13:00～
10/17 音楽まつり オーブニングセレモニー ■
高松市民会館 14:00頃
秋の音楽まつり 高松市民会館 13:00～▲
10/23 99生活文化ショーグン 高松市民会館 ●
壺井栄の生き方再発見 高松市美術館講堂 14:00～
10/30 CRESCENT Vol.5 高松テルサ ●
10/31 洋舞公演 高松市民会館 13:00～●
11/3 珍談 宮武外骨伝 高松市民会館 ●
吟劍詩舞道大会 高松市民文化センター 9:30～■
短歌大会 玉藻公園披雲閣 10:00～■
市民俳句会 玉藻公園披雲閣 ▲
川柳大会 玉藻公園披雲閣 ●
11/6 自作詩朗誦会 高松市美術館 13:00～
11/7 民謡まつり 高松市民会館 ●
11/10 生活文化のつどい 高松市民会館
11/14 日舞公演 高松市民会館 10:00～●
11/23 囲碁・将棋まつり 玉藻公園披雲閣 ▲
11/24～28 美術展 高松市美術館 ▲

高松市立市民会館 ☎(087)839-2888

9/5 臥風流創流40周年記念吟剣詩舞道大会 9:30～■
吉本新喜劇エクスタジーヤー 15:00～ 18:30～●
10/2 平成11年度高松市教育文化祭音楽会（中学校）12:15～■
10/6 スガ シカオ コンサート 19:00～●
10/7 平成11年度高松市教育文化祭音楽会（小学校）13:00～■
10/10 劇団 曼珠沙華 公演 13:00～■
10/11 伍代夏子コンサート99 14:00～ 18:00～●
10/15 美輪明宏リサイタル 19:00～●
10/18 DEENコンサート 18:30～●
11/8 リビング特選映画会「黄落」 11:12
10:00～13:00～ 16:00～ 18:30～●
11/28 人権フェスティバル 13:00～■

高松市美術館 ☎(087) 823-1730

~9/5 少女まんがの世界展 9:00～●
9/11～10/3 第30回日展 日本画・洋画・書 ●
10/9～11/14 ハーバード大学コレクション展 ●
11/3 ミュージアム・ライブ イデビアン・クルー
高松公演（コンティボラリー・ダンス）
9月～11月 コミュニティ・カレッジ（レクチュア）
※詳細未定内容お問い合わせ

香川県文化会館 ☎(087)831-1806

9/1～10/3 新収蔵作品展 前期展 9:00～●
9/11～10/3 第30回日展 彫刻・工芸美術 9:00～●
10/9～11/3 新収蔵作品展 後期展 9:00～●
10/9～11/3 国宝 弘法大師空海展 9:00～●
11/12～15 香川県華道選抜秀作展 10:00～●
11/20～12/19 国立博物館・美術館巡回展「絵画への招待（仮称）」9:00～●
11/20～12/19 館蔵品による「岩倉寿展」 9:00～●

香川県民ホール ☎(087)823-3131

※グランドホール
9/2 エチオピア国立民族舞踊団 18:30～●
9/12 松竹大歌舞伎 11:00～ 15:30～●
十五代目片岡仁左衛門の襲名披露公演
THE BOOM コンサート 18:00～●
第15回ダンスフェスティバル 18:30～●

9/22 四国新聞創刊110周年記念 文芸春秋講演会 18:30～★
藤井フミヤコンサート 18:30～●

9/24 矢沢永吉コンサート 18:30～●
高橋真梨子コンサート 18:00～●
徳永英明コンサート 18:00～●

10/10 第14回日本男声合唱協会演奏会 13:30～●
JT将棋日本シリーズ'99 13:00～●

10/24 スチューデント・ジャズ・フェスティバル'99 16:00～●
題名のある音楽会（As Time Goes By） 16:00～●

11/7 牧阿佐美バレエ団「三銃士」（全幕）15:00～●
穂吉敏子ジャズオーケストラ公演 18:30～●

11/10 松山千春コンサート 18:30～●
11/12 吉田拓郎コンサート 19:00～●
11/18 劇団四季ミュージカル 18:30～●

11/19 高松交響楽団第89回定期演奏会 18:00～●
11/20 香川大学吹奏楽団第30回定期演奏会 14:00～●

11/21 11/30 リトニア国立交響楽団演奏会 18:30～●
※アクトホール

9/5 第14回日本フルートフェスティバルinかわ 14:00～●
9/10～11 二期会オペラ第25回記念公演 18:00～●

9/12 ラ フェスタ デイ ちえちいりあ 19:00～●
蘭ハープ 小林サンブルコンサート 12:30～●

9/19 第1回四国会大 椎名へかるコンサート 18:30～●
梯剛之ビアノリサイタル 18:30～●

10/5 オペラ「うかれのひょう六機縦唄」 19:00～●
バスカル・ロジエ 14:00～●

10/9 小林美惠・長谷川陽子トリオコンサート ●
さぬき文芸祭 11:00～●

11/12 ミュージックウェイ'99コンサート 14:00～●
エレクトーンフェスティバル'99 香川地区大会 13:30～●

セントラルホールウイング ☎(087) 833-0005

9/13～19 「黒川義則喜寿記念作品展」 10:00～■
9/23 NLA第22回全国高校生の主張
香川県大会 13:00～
9/24～25 「陶芸作品展」 10:00～■
10/9 「とておきの芸術祭in高松」 10:00～●
11/7 「せとうち映像祭」 香川芸術
フェスティバル'99 13:00～
11/23 「ミュージックバトーラ'99冬の陣」 13:00～■

オリースホール ☎(087) 861-0467

9/5 オリーブ杯英語スピーチコンテスト
ヨンデンフラザ高松 ☎(087)851-3863

~9/5 カントリードールとドライフラワー展
9/7～12 第6回高松教員OB美術愛好グループ展
9/14～19 小品盆栽（水石）展示 [社会保険センター]
9/21～26 5人展 [受講生による]
9/28～10/3 27人のこどもたち絵画展
9/11 200V体験クッキング 14:00～■
9/18 ふれあいミニコンサート 弦楽四重奏
による「音楽世界旅行」 15:00～■

株石の山田 ストーンミュージアム ☎(087)871-2200

10/16～11/30 三枝惣太郎 千支展 9:00～●

ミューズホール ☎(087)833-0013

10/16 WFC パベットショー
10/23 香川芸術フェスティバル'99 13:00～ 16:00～●
Sound of KOO (空) KAI (海)
10/31 エレクトーンフェスティバル高松店大会
11/8 香川芸術フェスティバル'99 18:30～
花一途 讲岐のクリスマス・お正月

四季ギャラリー ☎(087)822-9010

9月 「ステンドグラス・Kパネル展」
10月 森本耕造写真展「獅子礼賛」
11月 写団まんのう写真展

あーとらんど ギャラリー ☎(0877)24-0927

9/2～15 茶道具いろいろ展 10:00～■
9/11～10/3 木の表現 今、木版画とは 展 10:00～■
9/18～10/3 土の形展 10:00～■
10/7～20 生活の中の骨董展 10:00～■
10/9～31 樹々展 10:00～■
10/23～26 秋の茶道具展 10:00～■
10/30～11/14 コレクション展 10:00～■
11/7～28 閑 正和展 10:00～■
11/18～12/2 森久保安奈 染織展 10:00～■

イベントガイド

丸亀市教育委員会 ☎ (0877)24-8826

- ~9/5 県展受賞作品 丸亀市立資料館 9:30~ ■
 10/8 丸亀文化祭「丸亀城薪能」丸亀城内 17:30~ ●
 10/9 丸亀文化祭「東京芸術大学名誉教授 毛利準氏を迎えてのボーカルコンサート」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 14:00~
 10/16~24 第46回丸亀市芸術祭主催 展覧会 ■
 10/24 第46回丸亀市芸術祭主催「ハートフルコンサート」丸亀市民会館 14:00~
 10/31~11/3 第46回丸亀市芸術祭主催 協賛展覧会 ■
 11/20 丸亀市総合会館 9:00~
 丸亀文化祭「子どもの詩表現式&工藤直子ふれあいトーク」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 14:00~

丸亀市文化協会 ☎ (0877)24-8826

- 9/11 第8回 名作映画まつり 丸亀市総合会館 10:00~
 10/17 早坂曉講演会 一夢千代は私たちの未来に ★ かかわる日記— 丸亀市民会館 14:00~
 10/31~11/3 芸能フェスタ丸亀'99 丸亀市総合会館 9:00~ ■
丸亀市民会館 ☎ (0877) 23-4141
 9/17 仲道郁代ピアノリサイタル 18:30~ ●
 9/18 川中美幸コンサート 13:30~・ 17:30~ ●
 9/22 第24回丸亀市老人演芸大会 12:00~ ■
 10/17 丸亀市文化協会50周年記念講演会
 丸亀芸術祭主催公演・講演会
 市制100周年記念式典
 丸亀市役所吹奏楽団 第19回定期演奏会 14:00~ ★
 11/8 第6回香川演歌まつり
 11/14 第8回「心の詩コンサート」 ★
 11/21 丸亀市民吹奏楽団第26回定期演奏会 14:00~ ■

丸亀市立資料館 ☎ (0877) 22-5366

- 10/27~11/7 写真で見る丸亀の100年 9:30~ ■
 11/3~12/5 織りの流れ 一素材から糸へ糸から布へー 9:30~ ■
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎ (0877) 24-7755
 ~9/26 バリ市近代美術館展 10:00~ ●
 10/5~1/10 常設展 10:00~ ●
 10/24~1/10 みづのき寮からの発信 10:00~ ●

坂出市民ホール ☎ (0877) 45-1505

- 9/11 映画祭 14:00~ ●
 9/19 児童アニメ映画会 13:50~ ●
 10/3 日舞（公民館活動発表） ■
 10/10~11 歌謡カラオケ（〃） ■
 10/17 みんよう（〃） ■
 10/23 洋楽（〃） ■
 10/31 みんよう（〃） ■
 11/3 吟劍詩舞（〃） ■
 11/10 私の考えを語る会 ■
 11/13 創作新舞踊発表会 ■
 11/14 三曲部発表会（〃） ■
 11/20 こども音楽広場 ■
 11/23 踊りの発表会 ■
 11/28 吟劍詩舞道大会 ■

善通寺市立資料館 ☎ (0877)63-6329

- 秋頃 野田院古墳発掘調査速報展（仮称）9:00~ ■
善通寺市教育委員会 ☎ (0877)63-6328
 10/24 メモリアルコンサート 善通寺市民会館
 10/29~31 生花展・文芸展 呪童生徒作品展・シルバー人材センター作品展
 善通寺総合会館 善通寺市民会館ほか 9:00~
 合同演奏会 善通寺市民会館 14:00~ ■
 10/31 芸能祭 善通寺市民会館 12:30~ ■
 茶会 善通寺総合会館 10:00~ ★
 11/2~7 美術展 善通寺市美術館 9:00~ ■
 11/3 吟詠大会 善通寺市民会館 12:00~ ■
 郷土芸能大会・獅子舞大会 善通寺市伽藍 11:00~ ■
 将棋大会 善通寺市民会館 10:00~ ★
 善通寺空海まつり 善通寺市伽藍 ■
 民謡（踊）大会 善通寺市民会館 13:00~ ■
 カラオケ大会 善通寺市民会館 18:00~ ■
 囲碁大会 善通寺市民会館 10:00~ ★
 11/21 シバオケ大会 善通寺市民会館 ■

宇多津町教育委員会 ☎ (0877)49-8007

- 10/9~10 秋の文化祭（いけばな展・文化展） ■
 宇多津町保健センター 9:00~
 10/14 秋の文化祭（芸能祭）ユーブラザうたづ 9:00~ ■

観音寺市教育委員会 ☎ (0875)23-3944

- 10/31 第49回市民文化祭 短歌会・詩吟大会 ■
 観音寺市民会館会議室・共同福祉施設 9:00~
 第49回市民文化祭 合同芸能祭・宗鑑忌・俳句会 ■
 観音寺市民会館大ホール興昌寺 9:00~
 11/6~8 第49回市民文化祭作品展示 観音寺市民会館・ ■
 中央公民館他・四國新聞観音寺支局 9:00~
 第49回市民文化祭 謡曲と舞踊子の会 ■
 観音寺市民会館大ホール・働く婦人の家 9:00~
 第3回観音寺市民音楽祭 吹奏楽と合唱 ■
 観音寺市民会館大ホール 14:00~

池田町文化協会 ☎ (0879)75-0431

- 10/23 第18回池田町文化発表会（展示部門発表会） ■
 農村環境改善センター他 13:00~
 10/24 第18回池田町文化発表会（抹茶席・展示 ■
 部門発表会・芸能部門発表会） 9:00~

多度津町民会館 ☎ (0877)33-3330

- 9/23 劇団四季ファミリー・ミュージカル ●
 「人間になりたがった猫」 15:00~
 11/21 第16回香川県高校総合文化祭 音楽会 13:00~ ■

三木町教育委員会 ☎ (087)898-1111

- 10/30 第29回三木町文化祭（展示及び芸能発表） ■
 三木町文化交流プラザ 9:00~
 10/31 第29回三木町文化祭（展示） ■
 三木町文化交流プラザ 9:00~
 獨創民俗芸能祭（仮称）三木町文化交流プラザ 12:00~ ■

綾南町教育委員会 ☎ (087)876-1180

- 10/31 綾南町子どもカーニバル'99 ■
 綾南町総合運動公園 11:00~
 11/20 綾南町文化祭 作品展示 ■
 綾南町社会福祉センター 9:00~
 11/21 綾南町文化祭 作品展示・芸能発表 ■
 町立滝宮公民館 9:00~

琴平町教育委員会 ☎ (0877)75-6716

- 9月下旬 映画名作劇場 琴平町文化会館 19:30~ ■
直島町文化協会 ☎ (087)892-2882

- 11/3~4 直島町教育文化祭 直島町西部公民館・ ■
 勤労者体育センター 9:00~

多度津町中央公民館 ☎ (0877)33-0760

- 9/4 多度津町秋季講演会 町民会館 13:00~ ●
 9/24 多度津町觀月会（短歌・川柳・俳句）福祉センター 17:00~ ■
 11/2~3 芸術展 福祉センター・中央公民館他 9:00~ ■
 11/23 健康ウォーク（歩け歩け大会） 9:00~ ■

仁尾町文化協会 ☎ (0875) 82-2143

- 観月茶会 賀茂神社 18:00~ ●
 10/16 町民芸能の夕べ 仁尾勤労者体育センター 18:30~ ■
 10/30~31 仁尾町総合文化展 仁尾勤労者体育センター 9:00~ ■

高瀬町文化協会 ☎ (0875) 73-3009

- 9/11 第5回高瀬町子ども芸術鑑賞会 ●
 高瀬町立麻小学校体育館 15:00~
 第5回高瀬町子ども芸術鑑賞会 ■
 高瀬町農村環境改善センター 9:30~
 文化講演会 講師：東海林のり子 ■
 高瀬町農村環境改善センター 14:30~
 高瀬町文化展：ふるさとまつり・福祉まつり ■
 高瀬町農村環境改善センター 9:00~ ■

庵治町教育委員会 ☎ (087)871-4162

- 11/2~3 第23回庵治町文化展 庵治町民会館 9:00~ ■
 11/3 第13回庵治町芸能大会 ■
 庵治小学校体育館 13:00~
 11/14 第14回ファミリー・マラソンinAji ▲
 庵治町役場前出発

香川町教育委員会 ☎ (087)879-0231

- 9/11 和太鼓コンサート（あすか組） ■
 香川町総合体育館 14:30~
 9/12 ひょうげ祭り 香川町浅野地区集落研 ■
 修センター～新池 14:00~
 11/5~7 ふるさと香川フェスティバル'99 ■
 香川町総合体育館 9:00~

飯山町教育委員会 ☎ (0877) 98-7961

- 9/6~18 書道展 主催：富士見書道教室 飯山町役場別館 8:30~ ■
 10/19~25 陶芸展 主催：陶友会 飯山町役場別館 8:30~ ■
 10/30~31 生涯学習フェスティバル ■
 主催：飯山町教育委員会 飯山町文化協会
 飯山総合運動公園・飯山北地区公民館 8:30~
 11/8~21 書道展 主催：竹乃教室 飯山町役場別館 8:30~ ■

白鳥町教育委員会 ☎ (0879)26-1121

- 9/12 生涯学習野外ステージ 白鳥中央公園 15:00~ ■
 9/19 東かがわ ベットボルワット大会 とらまる公園内 9:00~ ●
 11/20~22 白鳥美術展 白鳥町総合会館 9:00~ ■

大野原町中央公民館 ☎ (0875)54-5711

- 11/2~4 第31回大野原町文化展・埋蔵文化財展 ■
 スポーツセンター中央集会場 9:00~

仲南町教育委員会 ☎ (0877)77-2882

- 10/2 映画「こむぎいろの天使」町民文化ホール 19:00~ ●
 10/9 〃「二十四の瞳」 19:00~ ●
 10/16 〃「アイ・ラブ・ユー」（予定） 19:00~ ●
 11/7 獅子舞フェスティバルin仲南 町民文化ホール 14:00~ ■
 11/20~21 仲南町文化祭 町中央公民館・町民武道館・ ■
 町民文化ホール他 20日13:00~・21日9:00~
 仲南町文化祭 ハイビジョンシアター（ファミリー ■
 ミュージカル）町民文化ホール 19:00~
 11/21 仲南町文化祭 ハイビジョンシアター（オペラ） ■
 町民文化ホール 14:00~

志度音楽ホール ☎ (087) 894-1000

- 9/5 伝統芸能鑑賞会 津軽じょんがら節演奏会 14:00~ ●
 9/12 志度東中学校吹奏樂部 第12回定期演奏会 15:30~ ■
 9/15 第9回グランド・コンサート 13:00~ ■
 9/19 ふれあいコンサート 14:00~ ■
 9/26 志度ふれあいコンサート&芸能大会 10:00~ ■
 10/5 平成11年度移動芸術祭巡回秋季公演 モダンダンス 18:30~ ●
 10/31 名誉館長演奏会 ジャンニ・ビエール・ ■
 ランバル・ラスト・コンサート 14:00~
 11/7 オータムコンサート 14:00~ ●
 11/21 中島歌謡塾“歌と踊りの祭典” 9:30~ ■
 11/28 第10回ピアニッシモ コンサート 14:30~ ■

大内町とらまる公園事務所 ☎ (0879)25-0400

- 9/11~12 第15回 レクリエーションと人形劇の ●
 カーニバル とらまる公園内 9:30~

大内人形劇場 とらまる座 ☎ (0879) 25-0400

- 9/25~26 人形劇団ばんび「つるのおんがえし」 10:30~・ 13:30~ ●
 10/2~3 西畠人形劇「清姫悲恋」 10:30~・ 13:30~ ●
 10/9~11 バベツンマムイムシアター ●
 うさぎ小屋・とちゃんのバベツンマムイムショー'99
 9日10:30~・10日10:30~・13:30~11日13:30~
 10/16 人形芝居くりちゃん・ぬればやまのちいさなにんじゅ 10:30~ ●
 10/17 〃 10:30~・ 13:30~ ●
 10/23 人形劇場かくれんば・やんちゃ姫とカッパ大王 10:30~ ●
 10/24 〃 10:30~・ 13:30~ ●
 10/30~31 人形劇団みのむし・ピノキオ 10:30~・ 13:30~ ●
 11/3 人形劇場たけのこ・3びきの子ぶた 10:30~
 11/7 〃 10:30~・ 13:30~ ●

総合会館アレイックス ☎ (0877)86-6800

- 9/5 NHK公開録画「欽ちゃんとみんなでしゃべって笑って」 17:00~ ★
 9/19 児童アニメ映画会 9:40~ ●
 10/17 緑歌吹奏楽団コンサート 14:00~ ■
 11/7 松竹名作劇場「京娘子特別講演」 14:00~・ 18:30~ ●
 10/30~31 ふるさとまつり

灸まん美術館 ☎ (0877) 75-3000

- 9/3~5 仲南町 陶芸クラブ展 9:00~ ■
 9/9~13 笠島歳一遺作展 9:00~ ■
 9/15~20 大西久文 楽焼展 9:00~ ■
 9/23~28 長尾武美 木彫展 9:00~ ■
 10/1~5 象東書院社中展 9:00~ ■
 10/8~12 中島育子・蟹江光江 二人展 9:00~ ■
 10/15~19 アンフォルメ・フラー展 9:00~ ■
 10/22~26 新構造香川支部洋画展 9:00~ ■
 10/29~11/1 秋山英子 さき織り展 9:00~ ■
 11/3~9 第6回一穂窯作陶展 9:00~ ■
 11/12~16 曾根詔 創作おり絵展 9:00~ ■
 11/19~23 五嶋信幸 陶展 9:00~ ■
 11/26~30 妹背 裕 生漆との関係～木 10:00~ ■

手づくりの館 西創 ☎ (0875) 83-6821

- 9/15~17 第8回詫問町風景画展 9:30~ ■

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。（記号表示は判明したもののみ）

上記予定は変更する場合もあります。

玉藻城 薪能



平成十一年度ボスト国民文化祭

玉藻城 薪能

と き 平成十一年十月一日（金）
ところ 玉藻公園桜の馬場
(雨天の場合は高松市民会館)

プログラム

午後四時三十分開場
午後五時三十分開演（火入れ式・演能）

半能「井筒」

三番目物。恋の永遠性が舞台に凝縮された

世阿弥の名曲。夢幻能の曲型。

狂言「棒縛」

小名狂言の代表作。太郎冠者と次郎冠者が主人の留守に何かことを起こすといった同類の曲に『附子』『樋の酒』があります。

能「土蜘蛛」

五番目物。派手にショーアップした、だれもが楽しめる風流能の代表的な作品。蜘蛛の糸が飛びかう演出が圧巻。

●主催 第26回高松市民文化祭実行委員会

（高松市・高松市教育委員会・高松市文化協会）

なお、チケット（前売券三千円）は財団事務所でも入手できますので連絡下さい。

【二つの形式】

〔夢幻能〕

前場と後場にわかっている。前場では、あるものの化身である主役が登場して身の上を語り、いつたん退場する（中入り）。後場で主役はその正体を現して、生前のことを語る。「井筒」は夢幻能の典型。

〔現在能〕

現実の時間の流れのとおりにドラマが進行する。

【番組構成上からの分類】

十四年前、新緑鮮やかな五月、玉藻公園で屋島源平八百年祭を記念して、薪能が初演されました。その後、平成二年の市制百年記念まで四回継続された後、雨にたたられたことなどもあり、絶えて、九年の時が流れました。この間、復活を待望する声がしきりにあり、「玉藻城薪能」を再現することになりました。

季節を秋に移し、さわやかな虫の声と夜空を背景に、かがり火に浮かぶ幽玄の世界の魅力を堪能できる一夜に出会える時。現実の空間から、六百年前の時空にタイムスリップし、引き込まれる時。日本伝統芸能の理想美である「能」の魅力を心ゆくまでご鑑賞ください。

三番目物Ⅱ『變』（かづら）物ともいう。女性を主人公とする能で、優美、端麗。

主役は王朝の美女の靈や草木の靈であることが多い。『井筒』『大原御幸』など。四番目物Ⅱ『雜能物』ともいう。初・二・三・五番目に含まれない能すべてがここに分類されている。亡者もの、狂女もの、怨霊もの、中国もの、斬り合いもの、などバラエティに富む。『邯鄲』『班女』など。

五番目物Ⅱ『切能物』ともいう。『切』は最後を意味する。鬼や天狗、精霊などが登場するテンポの速い能。『土蜘蛛』『紅葉狩』など。

編集後記

いつの時代にあっても「年寄り」というものは、昔はよかつた」と、いうのが定説だといわれます。年老いてくると、いまは失ってとり戻すすべがない若い日々を思い返して懐しむのあまりが、「昔はよかつた」になるのかもしませんが。

その考え方を進めていくと、人間の世の中「少しの進歩もないのか」と、皮肉のひとつも言ってみたくなるが、先人たちのたぬない努力と精進によって現在の人間は平穏で幸せな日々を送れるようになつたことは、間違いないことでしょう。

とはいふものの、昨今の国や社会の現状・現代の一部の人たちのことかもしれないが日常の行動などを見ていると、果たして将来私たちの子や孫たちが「現在」という時代を振り返つてみて「昔はよかつた」と感謝してくれるのだろうか、の思ひもあります。

先年、亡くなった作家の司馬遼太郎さんは「いつから日本はこんな駄目な国になつたのだろうか」と、国や日本人の現状を嘆いたと聞き及んだことがあります。

さりげなく過ぎて行く「ひととき」「一瞬」の私たちの行動が、いつの日かあの時代に生きた先人たちとして感謝されるのだろうか、それとも怨嗟の念いで語られるのだろうか。ひととき一瞬を大切にしたいものです。

〔声・情報お寄せください〕

編集部では、月金等の財團の催しや「文化通心」に関するご感想・ご意見を求めております。FAXでけつこうですので気が付いたことをどしどし投書して下さい。巷でキャッチされた面白そうな催しや企画等についてもご一報下さい。めざせ!! 双方向「同心」。

〒760-0017 高松市番町二丁目一一一二

財中條文化振興財團編集部

T E L (087) 826-3355
F A X (087) 826-2212